



研究会・研修会等への  
報告者・講師の派遣  
(平成十八年七月)  
平成十八年九月

連携システム』  
講演 黒澤不二男  
(当研究所・常務理事)

○「ホクレン報徳会研修会」

主催 ホクレン報徳会  
とき 平成18年7月19日  
テーマ 新基本計画体制のもと  
での担い手育成  
講演 黒澤不二男  
(当研究所・常務理事)

講義 太田原高昭  
(当研究所・所長)

○「ホクレングループ企業代表者  
定例会」

主催 ホクレングループ企業  
社長会  
とき 平成18年9月4日  
テーマ WTO体制のもとで始  
動する経営所得安定対  
策  
話題提供 黒澤不二男  
(当研究所・常務理事)

主催 (財)日本国際協力セ  
ンター北海道支所(帯  
広)

とき 平成18年9月20日  
テーマ 北海道における地域営  
農支援システム  
講義 黒澤不二男  
(当研究所・常務理事)

平成十八年度  
「研究事業」の進捗状況

○「更別村農業委員視察研修会」

主催 更別村農業委員会  
とき 平成18年7月6日  
テーマ 経営所得安定対策とこ  
れからの十勝農業  
話題提供 黒澤不二男(当研究  
所・常務理事)

○「中央会日高管内若手営農指導  
員研修会」

主催 北農中央会  
とき 平成18年7月27日  
テーマ 営農指導の原点は現行  
業務の徹底点検から  
講義 黒澤不二男  
(当研究所・常務理事)

○「中山間地域振興対策協議会東  
日本ブロック研究会」

主催 全国中山間地域振興対  
策協議会  
とき 平成18年9月7日  
テーマ 事例に学ぶ地域活性化  
のポイント  
講演 黒澤不二男  
(当研究所・常務理事)

「空知農業の現状とその課題」  
に関する調査研究(受託研究)

空知管内農協は、平成十八年三  
月に空知管内農協組合長会の諮問  
機関として「空知の農業経営と農  
協運営を考える会」(以下「空知  
農業を考える会」)を設置し、農業  
・農協を取り巻く現状の環境を分  
析・整理し、その解決策に管内関  
係者一丸となって取り組むことと  
しました。

○「幕別町忠類ナウマンクラブ視  
察研修会」

主催 JA忠類  
とき 平成18年7月13日  
テーマ 地域で構築する『耕畜

○「北海道大学博物館土曜講座」

主催 北海道大学博物館  
とき 平成18年8月12日  
テーマ 札幌農学校に始まる道  
産米物語

○「JICA南東欧『市場経済  
コース』研修」

講義 黒澤不二男  
(当研究所・常務理事)

本研究所は、その現状分析と課  
題整理までの業務委託を受け鋭意

協力することになりましたが、この調査研究を進めるにあたり、北海道大学等の研究者グループ「北海道農業研究会」に結集する二十数名の若手研究者を構成員とする「空知農業論プロジェクト」を立ち上げるなど、過去に例のない強力な研究体制で臨むことになりました。

これまでの経過ですが、四、六月は予備調査として関係市町村並びに農協のご協力を頂き、データ収集及び機関ヒアリング調査を実施、この成果を約二〇〇ページの報告書にまとめ、七月二十一日に「空知農業を考える会」へ中間報告致しました。

八月からは、前述の中間報告書の内容を深化させるための本調査段階に入りましたが、総体としては、機関補足調査を含め空知管内市町村の三〇〇戸の農家を調査員が個別訪問しヒアリングを実施する計画です。既に八月上旬、中旬にかけて北・中空知地区の市町村の一五〇戸調査を終えており、今

後は出来秋の収穫作業を終える十月下旬、十一月月上旬に南空知地区の機関補足調査と農家一五〇戸のヒアリング調査を実施いたします。

「空知農業を考える会」への最終報告・提言は、平成十九年二月を目途としていますが、その内容は、これまでの予備調査並びに本

調査の成果を盛り込んだものとす  
る予定です。

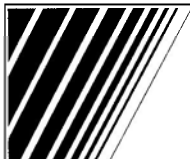
## 「農業後継者研修会」開催のご案内

JAカレッジでは、農家向け研修会として、新規に「農業後継者研修会」の開催を企画しております。

就農して間もない組合員を対象として、系統組織・JA事業の優位性を理解し系統結集を図るとともに、社会人としてのマナー、また、農業に対する熱い気持ちを培います。

- 後援 JA北海道中央会・北海道地域農研・北大農業経済学科
- 開催月日 ①平成19年1月22日～26日(5日間)  
② " 2月13日～17日( " )  
③ " 2月19日～23日( " )
- 受講対象 新規学卒就農の後継者で、概ね3年以内に就農した者
- 受講料 58,150円
- 研修内容 (主なもの)
  - ①JAの基礎知識 協同組合運動 組織 運営 各事業)と JA事業の優位性
  - ②農業経営管理の要点
  - ③組合員と法律
  - ④農業後継者に期待すること
  - ⑤社会人マナー
  - ⑥コミュニケーション力を如何に培うか

問い合わせ・申込先  
財団法人北海道農業協同組合学校 研修科  
〒069-0834 江別市文京台東町43-1  
TEL 011(386)7501 Fax.011(387)1715  
HP : <http://ja-college.jp/>



## DATA FILE

### 関連事項／DATA

酪農学園大学  
〒069-8501  
江別市文京台緑町582-1  
☎ 011(386)1111(代)  
FAX 011(386)1214  
HP : <http://www.rakuno.ac.jp/>

(独) 日本学術振興会  
〒102-8471  
東京都千代田区一番町6 番地  
☎ 03(3263)1722  
FAX 03(3221)2470  
HP : <http://www.jsps.go.jp/>

沼田町  
〒078-2202  
雨竜郡沼田町南1条3丁目6番53号  
☎ 0164(35)2111  
FAX 0164(35)2393

沼田町農産加工場  
〒078-2204  
雨竜郡沼田町西町6番28号  
☎ 0164(35)1206

北いぶき農業協同組合  
〒078-2193  
雨竜郡秩父別町1298-8  
☎ 0164(33)2011(代)  
FAX 0164(33)3311

(社) 北海道地域農業研究所  
〒060-0004  
札幌市中央区北4条西7丁目1番地  
☎ 011(281)2566  
FAX 011(281)2707  
HP : <http://www.chiikinouken.or.jp>

## 編集後記

九月二十六日、五年四ヵ月続い

た小泉政権から、戦後最年少の五二歳の第九十代安倍首相が誕生しました。就任後、外交面では長年の課題であった中国・韓国との首脳会談を行い懸案の東アジア外交の糸口をつかんだのもつかの間、

北朝鮮の核実験問題が発生し前途多難を感じました。また、内政では、財政再建・年金・福祉・医療・教育問題等様々な課題を抱えての船出となっています。

「美しい国、日本」の実現をキャッチフレーズに掲げて国民の期待を一身に集めての出発、今後の政策・手腕に期待しつつ注目したいと思います。しかし「普通の国、日本」の実現を求めているの

は私だけでしょうか！

◇ ◇ ◇

北海道日本ハムファイターズが見事パリーグプレーオフを制しパリーグ王者となりました。

一昨年から、駒大苫小牧高校に続く快挙は道民に明るい話題を提供してくれました。北海道に移転して三年道民の熱狂的な応援と選手の活躍が一体となった見事な成果に心からの拍手を送ります。

中日ドラゴンズとの日本シリーズもこの勢いで撃破し、是非とも日本一の栄冠を！

◇ ◇ ◇

二〇〇六秋号(第六三号)より編集・印刷会社及び編集担当者が交代しました。今後とも読者の皆様に愛される「地域と農業」づくりに共々頑張ります、宜しくお願いたします。

(佐々木正幸)